

変更後

2-5 自然環境保全機能 = 元来からある自然と調和し保全する機能

- 沿道の植生に対して、道路建設に伴う、風の吹き込みや日照の入り込みによる林内の乾燥などの防止や、自動車交通による生育環境の変化を緩和し貴重な自然の環境変化を和らげ、自然環境を保全します。
- 植樹帯・植樹柵からの雨水浸透、葉からの蒸散による都市の水環境の健全化
- 私たち人間以外にも、鳥や虫と言った身近な生き物にとっても快適性を有し、ナナカマドなどの実は野鳥のえさ場となっている。



2-3 緑陰形成機能 = 強い日差しを遮り地表面の温度を低く抑える機能

- 緑陰をつくることにより、寒暖や乾湿などの変化を緩和し、道路利用者に快適空間を提供します。
- 葉の蒸散活動などにより、温度の変化を緩和します。

2-4 交通安全機能 = 人々を事故から守る機能

- 視界が悪い場合（濃霧・吹雪など）車道の線形に沿って規則的に植栽された街路樹によって、視界誘導の役目を果たします。
- 歩行者や、自転車利用者を自動車交通から分離し、安全性を高めます。
- 形や姿が特徴的な樹木を植栽することにより、道路利用者が現在位置を確認したい場合、ランドマーク（目印）の役目を果たします。
- 車道通行車両が道路敷から飛び出した場合、車両の衝撃を緩和する役目を果たします。



変更前

2-5 自然環境保全機能 = 元来からある自然と調和し保全する機能

- 沿道の植生に対して、貴重な自然の環境変化を和らげ、自然環境を保全します。
- 野鳥・小動物を呼び戻し、まちの自然環境を回復させます。

